

点訳童話の贈呈

田 岡 洋 子

家政科生活福祉専攻の田淵由希恵さんは卒業研究で点訳童話4編をふるさとの広島県立盲学校（広島市東区戸坂千足）へ平成12年12月27日に贈呈しました。

点訳童話は次の4編です。

竹田まゆみ「ぼく」教育画劇 1997. 9. 10

エマ・タチェスタークラーク「しあわせの3つのおしえ」評論社 1998. 11. 10

ドクタースー「ぞうのホートンたまごをかえす」偕成社 1968. 8.

菊田まりこ「いつでも会える」学習研究社 1998. 12. 8

贈呈先から「よい童話を選んで点訳され、とても上手く出来ていますね！ 子供たちもきくと喜びますよ」とおほめの言葉をいただきました。

また、平成13年2月10日に開催される「市長ふれあい懇話会」魅力あるまちづくり“21世紀の福知山に望むこと”にさきがけて、渡邊ひとみさんの卒業研究「福祉のまちづくりとバリアフリーー福知山市の場合ー」をテーマに車いすで街中を散歩し、写真撮影し、細かくチェックした研究資料を福知山市秘書広報課長山段誠氏へ贈呈した。地元学生でないためにこの会合に参加できず、少しでも役立てていただきたいと最近の街の状況を福祉の視点でまとめました。よくないことばかりでなく、よいところも書いてくれていると参考に回覧するとのお言葉をいただきました。

なお、贈呈本と同じものは田岡研究室に保管しています。

